

議会だより

せら

世羅高校との 議会報告会&意見交換会

■今号の主な記事
こんなことが決まりました …… 2～3
委員会は今 …… 5～10
町政を問う …… 11～19
サロンの仲間たち …… 20

p.20の市長紙紹介

議会報告会・意見交換会



No. 78

令和6年7月12日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

発行／広島県世羅町議会 編集／議会広報広聴常任委員会

とが決まりました

6月4日から14日まで開会しました。
が13項目にわたり施策を質しました。

4件、承認5件、陳情2件を審議しました。

建設請負契約の変更

(仮称)世羅町学校給食センター
整備運営事業建設請負契約の請負
金額を変更

12億3640万円(変更前)



12億6674万円(変更後)

資材等の高騰により3034万円
の増額

財産の取得

ノート型パソコン72台の購入

759万円

小型動力ポンプ付積載車 3台

20年を目安に更新、3台は22年経過

西上原と小国(4WD普通車)

田打(4WD軽四輪)

総額 3066万円

条例の一部改正

世羅町子ども・子育て支援施設設置
及び管理に関する条例の一部を改正

放課後児童クラブの第2元気っ子クラブ

(世羅小学校区)の移転に伴う条例の整理

世羅町国民健康保険税条例の一部
を改正条例

国保税の税率等を変更

(医療給付費分、後期支援分、介護納付
金分)の各所得割・被保険者均等割・世

帯別平等割を増減



更新される小型動力ポンプ付積載車

第2回定例会

こんにちは

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は9月です

日程は無線放送・CATV・ホームページでお知らせします。
またケーブルテレビで本会議の中継をしています。

第2回定例会は、
一般質問は、8人

議案9件、報告

令和6年度世羅町一般会計補正予算（第1号）

新型コロナウイルスワクチン接種事業

内容 令和6年度から新型コロナウイルスワクチン接種は、接種回数を秋から冬の年1回の定期接種へ
対象者 ①65歳以上の方
②60歳から65歳までの重症化リスクの高い方
事業費 462.2万円

令和6年度定額減税しきれないと見込まれる方への給付金（調整給付金）

内容 所得税分から3万円、個人住民税所得割額から1万円の減税がしきれない差額を給付
対象者 基準日（令和6年6月3日）に町内に住民登録があり、定額減税しきれないと見込まれる個人
事業費 87.5万円

低所得者の子育て世帯物価高騰重点支援給付金

対象 エネルギー・食料品等価格の物価高騰を受けた町内低所得世帯で、18歳以下の子どもを扶養している世帯
給付額 対象児童1人につき5万円現金給付
事業費 200万円

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金

内容 エネルギー・食料品等価格の物価高騰を受けた町内低所得世帯への臨時措置
給付額 1世帯につき9万円を現金給付
事業費 315.0万円

令和6年度世羅町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

システム改修
補正額 34万円
内容 介護保険法の改正による介護サービスの変更に対応するための電算システムの様式等の変更



陳情の審査及び採決結果

6月定例会において、2件の陳情審査を行い、本会議で採決しました。

番号	件名	陳情者	委員会の審査意見・結果	本会議採決結果
4	安全・安心の医療・介護実現と国民のいのちと健康をまもるための陳情	「公立・公的医療機関再編ストップ！広島県共同行動連絡会」 代表 佐々木 敏哉	介護・医療・福祉については、利用者負担の面もある。これは国においてより議論を深めていただければと考えるとの意見が出された。賛成少数により「不採択すべきもの」と決定。	不採択
5	国の責任による教職員定数改善および住民無視の学校統廃合を強制しないことを求める陳情	「公立・公的医療機関再編ストップ！広島県共同行動連絡会」 代表 佐々木 敏哉	町教育委員会も段階的に学級の定数を引き下げており、効果を見極める必要があるとの意見が出された。賛成少数により「不採択すべきもの」と決定。	不採択

提出議案等の採決結果

令和6年 第2回世羅町議会定例会（令和6年6月）

（報告を受けたもの）

議案番号	提出議案
報告第3号	工事請負契約の変更について（城ヶ平トンネル補修工事）
報告第4号	令和5年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
報告第5号	令和5年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について
報告第6号	令和5年度公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

（全員一致で決定したもの）

議案番号	提出議案	採決
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例）	承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（世羅町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例）	承認
議案第51号	建設請負契約の変更について（（仮称）世羅町学校給食センター整備運営事業建設請負契約）	可決
議案第52号	財産の取得について（パソコン端末等72台）	可決
議案第53号	世羅町子ども・子育て支援施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第55号	令和6年度一般会計補正予算（第1号）	可決
議案第56号	令和6年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第57号	財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車（第1分団第1部1班））	可決
議案第58号	財産の取得について（小型動力ポンプ付軽積載車（第4分団第1部2班））	可決
議案第59号	財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車（第5分団第1部2班））	可決

（賛否の分かれたもの）

議案番号	提出議案	採決	高橋	上本	矢山	向谷	田原	藤井	松尾	徳光	久保	山田
議案第54号	世羅町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	安全・安心の医療・介護実現と国民のいのちと健康をまもるための陳情	不採択	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	●
陳情第5号	国の責任による教職員定数改善および住民無視の学校統廃合を強制しないことを求める陳情	不採択	●	●	欠	○	●	●	●	●	●	●

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

報告します 委員会は今

議員のなり手不足に危機感

議員報酬の抜本的見直しを提案

議会改革調査特別委員会

● 会議規則の改正

地方自治法の一部を改正する法律が令和5年5月8日に公布。

これに伴い議会に係る手続きのオンライン化等について世羅町議会会議規則の一部を改正することを9月定例会において提案することを確認。

● 議員報酬の見直し

全国的に、地方議員のなり手不足が問題視されている。その中で、大きな障壁として挙げられている議員報酬について、3月より小委員会を設置し検討してきた。

増額に対する意見

・若い人が議員になれる報酬環境が必要。

・生活しながら議員活動するためには、ある程度の報酬は必要。

・物価上昇に伴い給与は上昇している。現状のままなら、定年退職者、自営業者、資産家など特定の人ばかりの議会になる。

増額する場合の課題、問題点

・住民の理解が得られない。

・1〜2万円の増額ではなり手は増えない。

・議会の活性化が必要。

する基本的考え

・子育て世代が、政治参加できる環境整備が必要。

・人事院勧告等を参考に改定する報酬体系とする。

・町民の理解を得る。

委員会の結論

なり手不足問題を解消するためには、若い世代が生活しながら議員活動ができる程度の報酬額は必要である。町職員給与表の基となる国家公務員の行政職俸給表(一)を参考に、

職務・職責を確認した上で見直すことで議論を重ねた。

賛成多数で、町長から特別職報酬等審議会への諮問を依頼することとした。

小委員会の報酬に関

議員報酬 (1人当たり平均報酬月額)

	議長	議員
町村	約30万円	約22万円
市	約52万円	約43万円
政令指定都市	約97万円	約81万円
都道府県	約99万円	約83万円

議員報酬案

国家公務員行政俸給表(一)		
議員	271,600円	4級1号俸
委員長	283,100円	4級8号俸
副議長	295,400円	5級1号俸
議長	333,500円	6級6号俸

出典 令和5年地方公務員給与実態調査結果
市議会議員報酬に関する調査結果(令和5年12月31日現在)
町村議会議員実態調査結果の概要(令和5年7月1日現在)

議員の責務と規範の見直しに着手

新たに取扱審査会を設置

●世羅町議会議員政治倫理規程の見直し

政治倫理審査会小委員会で作成された案を、委員会で論議し、文言整理をした後、9月定例会で確認することとした。

政治倫理規程の主な変更点

●請負等に関する遵守事項

議員は、町からの工事などの請負・業務委託・物品の納入を辞退しなければならない

らないが、各会計年度の支払いが300万円を超えない者は除く。

●政治倫理基準追加

ハラースメント行為の禁止事項を追加した。

●法人等の役員就任一部見直し

議員は、町から補助金や委託料により運営費の過半の交付を受けている法人・団体の役員に就任してはならない。

●取扱審査会の新設

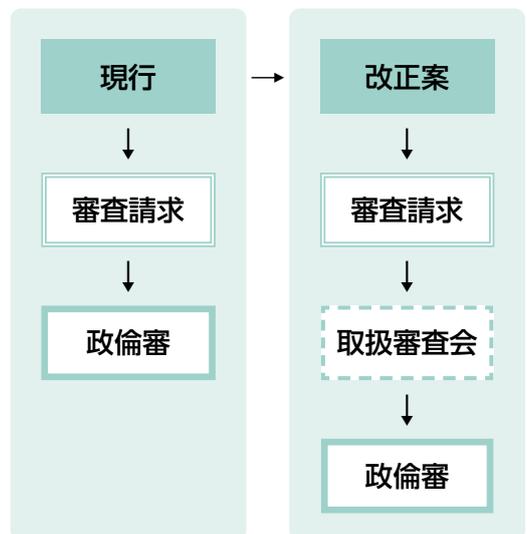
審査請求があった場合、すぐに政治倫理審査会を開くのではなく、取扱審査会で審査請求の適否及び政治倫理基準に違反



請負・委託・物品納入の契約は300万円以上禁止



ハラースメント行為を追加



取扱審査会を新設

反する行為の存否を審査する。
活発な論議がされ、取扱審査会を設置することが了承された。

委員の意見

・取扱審査会で審査して、また政治倫理審査会でも審査する意味がわからない。今までどおりでいいのではないか。
・これまでも審査請求があった時審査会にかかると決まっていた。

れを明文化して政治倫理審査会の前段階で判断するため取扱審査会が必要。

・取扱審査会では、請求者の代表者、対象者、議長以外の9人で審査し、請求が妥当となれば議会運営委員会のメンバーで、政治倫理審査会を開けばよいのではないか。

法人・個人に限らず幅広く米の納入を検討

「工事進捗状況を調査」

学校給食センター整備運営調査特別委員会

●今後の工事概要

4月に基礎及び地中梁のコンクリート打設工事が完了し、5月より床部分の配筋作業に入り、月末には床の打設が完了。6月より鉄骨の建方工事に入り、鉄骨の本締め2階の一部の床配筋工事と並行して屋根工事や外壁工事が始まる。8月下旬からは、内装工事や電気及び機械などの設備工事に入り、12月に厨房機器の据付け工事を行い、令和7年1月末竣工予定となっている。

●「世羅町らしい」給食の提供に向けた準備状況

新学校給食セン

ター運営開始から米飯も提供する「完全給食」となり100%町内産の米が提供されるため、精米ベースで1日当たり100kg、1週間で約500kg、年間20t必要。

今後、世羅町集落法人経営者協議会などへ納入条件を示し納入希望者を募る。令和7年度の運営開始時から、安定供給できると考えているが生産者から声が上がれば、法人・個人に限らず幅広く納入を考えていく。

●今後の食育は

毎月テーマとなる食材を決めて、生産者を取材し給食だよりやケーブルテレビ、

及び学校の授業を通して産地や生産者の顔が見えるよう取組を進め、米も食材の一つとして食育に繋げる。

●今後の給食費増額の見込みは

現在小学校230円、中学校260円、保育所月額4500円。米飯給食になることで、一食あたり25〜40円の増額になる。保育所については、完全給食になることで上がるものと考えられるが、子どもが食べる量に見合う金額を算出する。



工事進捗率 26%の学校給食センター

今後の制服価格は 今後の教育委員会に期待

総務文教常任委員会

現地調査

●山福田自治センター活動（利用）状況及び今後の計画

利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響で4年度までは減少していたが、現在はコロナ禍前の利用者に戻りつつある。

今後の計画は、蛭まつり・敬老会・お盆祭り・スポーツ大会を軸に、新自治センターを交流活動拠点施設として協働のまちづくりを進めていきたいと考えていることを確認した。

●世羅郷土民俗資料館（大字重永）施設利用状況及び保管状況

管理いただいている団体と共にこれからもしっかりと資料の管理をしつつ徐々に整理し、将来に向けて統合も見据え、どの様な方向が良いか鋭意検討中であることを確認した。

事務調査

●自治センターの指定管理期間満了に伴う各自治センターの指定管理者の選定方法

地域の重要な拠点施設であり、お金を稼ぐための施設で

も、稼ぐことができない施設でもない。現段階では、指定管理は継続の意向である。一般公募とした場合、現在の予算額では応募者がいないことも想定される。自治組織以外の団体などが指定管理者と決定した場合、予算額を理由に、自治センターの開館日、時間の短縮や施設利用料に応じた利用者の決定などがなされる可能性も考えられ、現時点では、自治センターの指定管理者の選定方法は、非公募による選定を考えている。

●学校制服について
令和7年度の小学校制服の価格（小学校4校／中学校3校）

●教育委員会の取組
今の範囲のなかでは、価格については

頭打ちになっている。次の段階に進むとしたら、学校長に対し、教育委員会から情報提供を行い、PTA役員、保護者とともに協議してほしいと持ちかけた。委員から支払いに關しては、昨今において現金收受を止めといった方法をとる必要があるのではとの問いに、業者との協議が必要ではあるが、現金での納入をしないよう学校に指導したい。

●令和6年度行政視察

視察時期及び調査項目については、7月23日の高知県佐川町では、奨学金返還支援の取組について、7月24日の愛媛県内子町では、インクルーシブ教育の取組についての調査を行う。

学校制服について

小中学校制服価格（小学校4校／中学校3校） 来年度の見込み（メーカー、販売店から聞き取り）

学校名		R6 価格	R7 価格	価格決定時期	備考
甲山小	男	22,190円	22,200円	決定	昨年並みである、シャツなし(自由)
	女	17,550円	17,550円		
せらひがし小	男	30,600円	—	12月	現在のところ値上げ情報はない
	女	25,410円	—		
世羅小	男	35,460円	—	7月	値上げ15%
	女	28,680円	—		
せらにし小	男	19,040円	—	6月末	値上げ（販売店と協議中）
	女	16,850円	—		
甲山中	男	49,300円	—	7月	値上げ
	女	51,900円	—		
世羅中	男	66,190円	—	7月	値上げ15%、上着変更を検討
	女	65,890円	—		
世羅西中	男	58,950円	—	6月末	値上げ（販売店と協議中）
	女	60,540円	—		

厳しい農業法人の実態を調査

法人の担い手不足が深刻

産業建設常任委員会

現地調査

●指定管理施設せらにし青少年旅行村(株CIPPLANTS)事業の取組状況及び解体予定施設の状況

解体予定の施設の現地確認が行われ、受付建物とバンガロー8棟の状況が個体によって異なり、利用に耐えないものと判断された。指定管理者からは、「契約時にバンガローを慎重に確認をしていないが、町の担当者から使うことはできない、壊す予定と聞き、そのうえで今回申請した」とのことであった。



今後のせらにし旅行村は

このまま当該施設を放置することはできないが、施設内には転落事故の可能性のある池が存在し、池の対策を優先するべきと意見が出された。事業の取組状況は、利用者のニーズに合わせて柔軟に取

組まれており、現段階では順調に経営されていると受け止めた。

事務調査

●サテライトオフィス

ス誘致(お試しオフィス)事業の状況

現状、成果を得ていない。オフィス誘致につながるアプローチの方法や熱意、お試し利用後のフォローに意見が出された。今後の事業継続の必要性と、それに伴う補助金を含む財源に継続調査が必要と考える。

●宇津戸下仮屋地区臭気改善計画の進捗状況

豚の全頭搬出、堆肥舎への発酵促進剤散布設備の設置、場内細霧装置の延長は完了している。豚舎の徹底洗浄も6月17日には完了予定であり、町及び地元代表者により6月25日から6月28日に現地確認実施予定。その後、使用頭数を最大6800頭で飼養再開予定となっている。再開後も堆肥を

滞留させないサイクルを確立。

その他に、プライフーズ甲山農場が当地での事業を終了したことに伴い、農場内の立ち入り確認を実施したいと考えている。

●公共下水道今後の事業計画

計画された事業区域は処理能力内で検討し変更する。国庫補助金の対象が令和9年以降に制限されることから、令和6年度中に認可計画区域を見直し、令和7年10月までに変更申請を行う方針が示された。このため、委員からは昭和町地区の認可区域見直しの必要性が提案された。

●農業法人実態調査

経営面積、売上高、経常利益の推移を示した資料によれば、現在非常に厳しい状況にあることが

明らかになった。法人の人手不足が主な要因であり、これによって農地の管理ができず、生産コストが上昇している。改善のためには町レベルでの政策の必要性が議論され、補助金や交付対象の見直しも提案された。それに対して、これらの問題は町の農業を維持する上で避けられないものと考えており、解決が難しいが考えていく時期と認識しているとの答弁があった。

●令和6年度行政視察

滋賀県甲良町での「民間事業者への指定管理による運営・6次産業化の取組」と、岡山県西粟倉村での「エネルギーの地産地消への取組」を視察先と決定した。日程を7月9日、10日とすることが確認された。

世羅高校生と町の魅力や将来の姿を議論

高校生12の質問へ議員が答弁する模擬議会体験

議会広報広聴常任委員会

議会報告

●第1回議会報告会・意見交換会

5月24日（金）、

昨年に続き、世羅高校2学年90人と議会報告会・意見交換会を実施した。

議場体験30人とオンライン参加60人の参加である。

議会報告会の模擬議会体験では、12人の代表者が、議会だよりや身近な課題から生徒自身が気付いた内容の質問を行った。

議員は、高校生に分かり易い言葉で、議会としての答弁を行った。

意見交換会では、

ワークショップ形式で行い、高校生30人に議員12人が加わり、6班に分かれ、

①「世羅町の魅力って何だろう」、及び

②「将来こんな世羅町であって欲しい」

の2題への思いをメモ書きし、体系的に取りまとめ、高校生から発表した。

若い世代の思いやものの捉え方など、

たくさん意見を聞くことができ、今後の議会活動の参考となる貴重な意見交換会であった。

●次回の予定

「若手農業者ネットワーク会員」との議会報告会・意見交換会を振り返り、意見交換会の農業に対

するアイデアを、政策提言に取りまとめることとした。

再度「若手農業者ネットワーク」の方々と調整を進める。

●「議会だより」No.78の紙面構成

表紙の写真は、世羅高校生との議会報告会・意見交換会を。

6月定例会の概要や一般質問を中心に掲載することとした。

●その他

行政視察は7月25日から26日に、三重県東員町及び奈良県王寺町議会を視察することを決定した。



高校生議会



意見交換会

2次元コードで動画配信はじめました

町政を問う

ただ
8議員13問を質す

一般質問とは？

定例会で、議員が町の施策の状況や方針などについて報告・説明を求め、疑問点を質したり政策を提案することを一般質問といいます。

質問時間は1人30分以内で、答弁時間は含みません。

動画配信は2次元コードを読み取って下さい。



※視聴環境により、
通信料がかかる
場合があります。

ページ	質問者	質問事項
12	松尾 陽子議員	1 高齢者や障がい者に優しい支援を 2 気象アドバイザーの採用を
13	向谷 伸二議員	1 自治体存続危機への対応は
14	田原 賢司議員	1 今後のまちづくりの提案について
15	上羽場 幸男議員	1 農業の経営基盤の安定化は 2 町財政の現状認識と健全化は
16	山田 睦浩議員	1 町の防災対策は
17	高橋 公時議員	1 「消滅可能性自治体」脱却の施策は
18	矢山 武議員	1 上水道の運営に係る負担は 2 高齢化が進み集落をどう守るのか 3 介護サービスを守る支援は
19	藤井 照憲議員	1 依然流行のコロナ対策は 2 早めの避難の定着は出来るのか



まつお ようこ 議員

3 すべての人に健康と福祉を

問 高齢者や障がい者に優しい支援を

答 音声コードは早期に導入

松尾 窓口に*軟骨伝導イヤホンの導入は。

町長 耳が聞こえづらい高齢者や障がい者とコミュニケーションのための有効な機器。大声で話して個人情報も少ないため、導入自治体も増えている。

町では、保健福祉センターの窓口に類似の音声拡張器を1台設置して対応している。

松尾 町広報誌に音声コードの導入は。

企画課長 デジタル田園都市構想交付金の採択により、町広報

13 気候変動に具体的な対策を

問 気象防災アドバイザーの採用を

答 気象台との連携で位置付けたい

松尾 町の災害の特性は。

町長 地質は、花崗岩系であるが玄武岩が露出した山もあり、雨水の貯留性に乏しい。

また、町の中心部には芦田川が東西に流れ、そこへ複数の支流が流れ込んでいる。本流である芦田川の水位が高くなり、支流の水が逆流すれば、倉敷市真備町のような大規模な水害がおこる可能性もある。

誌に音声読み上げ機能を追加するほか、多言語に対応可能とするよう準備をしている。

松尾 小学校・中学校の防災教育・防災訓練は。

教育長 防災教育は、小学校では、「ひろしまマイタイムライン」を活用し、学校での指導後各家庭で話し合い、行動計画を立ててもらおう。

中学校では、体験型防災教育や過去の大地震を教訓にした授業を実施している。

防災訓練は、学校ごとに作成した「学校安全計画」を基に、地震や風水害を想定した避難訓練を実施している。

松尾 気象防災アドバイザーの採用は。

総務課長 気象防災アドバイザーの採用は、予定していない。任用形態は単位雇用だけでなく、研修やイベントなど随時での依頼も可能で、気象台との連携の中でこの制度を位置付けたい。

あなたのまちに 気象防災アドバイザーを

こんな お悩み ありませんか？

- 避難情報の発令を適切にできるか不安
- 住民への周知啓発をもっと充実させたい
- 地域に特化した気象解説を聞きたい

そのお悩み 気象防災アドバイザーにお任せください

気象防災アドバイザーは、国土交通大臣が委嘱する、気象防災のスペシャリストで、限られた時間の中で予報の解説から避難の判断までを一貫して扱える人材です。以下は活動内容の一例です。

* 「軟骨伝導」は、外耳周辺の軟骨を振動させることで鼓膜に振動を伝えて音を聞く方式。



むかいだに 向谷 しんじ 議員



自治体存続危機への対応は

答 若者に対する総合的施策を展開

向谷 人口減少による自治体存続危機の現状認識と今後のま

町長 令和6年地方自治体「持続可能性」分析レポートによる世羅町の状況は、将来的な若年女性人口が約半減する。コロナ禍以降、出生数は

大幅に減少しており、今後の若年女性の減少はこれまで以上に進む。人口減少を抑制していくためには、若者に対する総合的な施策が必要。

向谷 働く場所の確保は転出抑制に繋がるとの産業を中心に働く場所の確保を

図るのか。

商工観光課長 商工業では、事業展開の促進や、商工会や金融機関との連携支援で雇用の創出に努める。基幹産業である農業では、人材育成に取組み、働く場所の創出に努める。

向谷 人口減少は財政の縮小をもたらす。公共施設や公共サービスへの影響は。

財政課長 福祉、インフラ維持管理、教育、災害対策などの基礎的な行政サービスは維持する必要がある。事務事業の見直しや公共施設の適正配置を進めると共に、本町単独では維持困難な行政サービスは、広域連携を活用することも検討し、持続可能なまちづくりに努める。

向谷 公共交通サービスの将来像は。

企画課長 問題点や課題整理を行い、せらまちタワシの再編案を検討する中で、今年度中に地域公共交通計画を策定する。

向谷 生産年齢人口減少に伴い、外国人労働者の需要が高まっている。受け入れに対する町の考え方は。

商工観光課長 町内の商工業分野での外国人労働者の実態は、10社120名程度の受け入れがある。現在、商工会を通じて人材育成が行なわれており、資格などの取得を促進する研修等受講支援が実施されている。受け入れ支援は、他市町を参考に検討を進める。

自治体名	分析結果 9分類	2020年		2050年人口（移動想定）		
		総人口 (人)	若年女性人口 (人)	総人口 (人)	若年女性人口 (人)	若年女性人口 減少率 (%)
府中町	A	51,155	5,423	44,514	4,354	▼19.7
海田町	D-③	29,636	3,499	25,365	2,642	▼24.5
熊野町	D-②	22,834	1,810	14,879	1,092	▼39.7
坂町	D-②	12,582	1,194	9,840	844	▼29.3
安芸太田町	C-①	5,740	282	2,590	133	▼52.8
北広島町	D-③	17,763	1,184	11,575	611	▼48.4
大崎上島町	D-②	7,158	311	3,905	204	▼34.4
世羅町	D-②	15,125	958	8,767	534	▼44.3
神石高原町	C-①	8,250	430	3,818	159	▼63.0

注 A…自立持続可能性自治体 C…*消滅可能性自治体 D…その他の自治体 9分類は17ページをご参照下さい。

出典 令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート

*消滅可能性自治体の厳密な定義は、2010年から2040年にかけて、20～39歳の若年女性人口が5割以下に減少する市区町村



たはら けんじ 議員
田原 賢司



問 今後のまちづくりの提案について

問 妊婦健康診査の通院助成は

答 負担軽減に向けて具体的に検討

田原 町外医療機関で妊婦健康診査や産婦健康診査を受診される妊産婦の方へ、通院した場合に要した交通費の一部助成は。

町長 現在は、妊婦の約半数の方が尾道

市、約2割の方が三次市で受診されている。通院される負担を軽減するため、妊婦健康診査の通院助成は、今後、具体的に検討していく。

問 高齢者が元気になるイベントを

答 音楽イベントで新たな交流を期待

田原 年を重ねると

遠方へ行くのは難しく、近場で、高齢者が気軽に参加でき、楽しい文化イベントを提供することにより高齢者が外出し、他の人と交流する機会が増える演歌歌手のイベントができないか。

福祉課長 音楽の力を使って、心身の向上を図る「音楽療法」が本町においても各所で取り入れられている。

これから地域で行われる敬老会や文化祭、祭りなど行事において、誰もが元気になる歌や音楽のイベントを積極的に取り入れることで、新たな交流も増えるものと考えている。

問 事故多発交差点に対策を

答 視認性の高い抑止策を検討

田原 事故が多発する交差点に、信号機設置や減速させるためのパターン舗装を地元要望しているが難しい。

先日、兵庫県の二ユースで、警察官の制服に似せたマネキンとパトカーに似せた古い車を、道路わきに置いて交通違反抑止をされていた。地元交通安全会と連携して、こうした抑止策がとれないか。

総務課長 今回の事故を受けて行われた現地検討会では、交差点が見えにくいことが原因とみて、新たな速度規制や標識の移動などの案が出ている。

運転者に交差点を意識させる、より視認性の高い事故抑止策を、警察・地元交通安全会などと連携し検討を進める。



事故が多発する交差点



問 農業の経営基盤の 安定化は

答 一定以上の経営規模を維持し・売上高の安定化

上羽場 世羅町農業の現状認識は。

町長 集落営農の法人化を積極的に推進し、現在38法人が設立されている。設立後10年から25年が経過し、高齢化と担い手不足が深刻な課題となっている。経営面での売上高

や経常利益は、ピーク時から減少傾向が見られ、令和4年には売上高が約2700万円、経常利益が100万円未満となっている。

将来的に持続可能な農業経営を確保するためには、一定以上の経営規模を維持し、売上高の安定化



議員 幸男 上羽場



高付加価値作物への転換

が不可欠と認識している。

上羽場 町としての取組は。

産業振興課長 機械導入の支援、高付加価値化の取組を推進し、消費者の健康志向や環境意識に応じた施策をすすめる。

国や県の支援策を積極的に活用し、町独自の施策も柔軟に見直していくことで、限られた予算を効果

的に活用する。

上羽場 収入保険掛金の補填を。

産業振興課長 令和4年度では掛金の半額を補助し65件の個人農家と40件の法人に合計950万円余を、令和5年度では補助額の上限を設けて、63件の個人農家と39件の法人に合計591万円余の支援を行った。

この支援により、

農家の経営改善に寄与したと認識しているが、保険の趣旨から、将来的な制度化

や支援方法の公平性についても検討が必要である。



問 町財政の現状認識と 健全化は

答 予算規模縮減や財源活用が必須

上羽場 財政健全化の取組無しで、住み続けたい町とは程遠いものになる。町長の現状認識と取組は。

町長 町の財源構造は、自主財源である町税等が歳入総額の約25%、地方交付税が約40%を占めている。

一方、義務的経費は歳出総額の約40%を占めており、財政指標では、経常収支比率が90%台で高止まりしているが、実質公債費比率など他

の指標は良好である。将来的な人口減少を見据えて、町税等の経常収入の減少に対応するため、一般財源ベースでの予算規模の縮減や財源の効果的な活用が必須と考えている。

現在、財政調整基金は約20億円程度確保されており、基金を効率的に活用し、将来の人口減少や新たな行政ニーズに対応する財政基盤を築く取組を行っている。



やまだ 山田 睦ひろ 議員

11 住み続けられるまちづくりを

問 町の防災対策は

答 個別避難計画の作成を推進

山田 現在12地区の自治センターが第一次避難所に指定されているが、なぜ甲山地区は農村環境改善センターなのか。

町長 現在の甲山自治センターは、大規模災害時に災害ボランティアセンターが開設される場合での拠点施設として位置

付けているため、甲山地区の第一次避難所は今までどおり農村環境改善センターとしている。

山田 多様性が求められる時代となり、福祉避難所の設置も必要ではないか。

総務課長 町では老人福祉施設や障がい者

支援施設4施設と福祉避難所協定を締結している。
新たに施設を整備することは困難だが、避難行動要支援者名簿に掲載された方を対象に、避難支援の個別避難計画の作成を進める。

山田 消防団の団員数の状況及び全国的にポンプ操法大会の開催可否や是非が問われているが本町の状況は。

総務課長 定数は650人で現団員数は569人となっている。

世羅郡ポンプ操法大会は、令和7年度広島県消防協会世羅支部主催の単独開催の年にあたる。各分団の本部員や団員から出された意見集約から、夏以降に次年度活動計画を取りまとめることとしている。

山田 防災センターは有事の際、どのような機能を発揮するのか。

総務課長 災害対策本部の設置を目的として防災会議室、常駐を可能とする部屋や浴室を備えるほか、浸水を考慮した2階大型備蓄倉庫、緊急車両と荷捌きスペースを備えている。

これらの機能により、自衛隊による実働訓練会場に使用された実績もある。

山田 町河川の堆積土砂の浚渫状況は。

建設課長 出水期前にパトロールを行い、堆積土の把握のほか護岸の異常の有無などの点検を行っている。

異常な土砂の堆積が見られた箇所は、令和2年度に創設された緊急浚渫推進事業債を活用し、今年

度は5河川5か所の浚渫を計画している。
山田 大規模災害時に最も重要になる上下水道インフラの危機リスクは。

上下水道課長 整備年次から年数が経過した

下水道区域は、老朽化に伴う更新時の耐震化が必要である。
上下水道事業は、広島県水道広域連合企業団による事業運営となっており、甚大な被害が生じた際には企業団全体として復旧体制がとられる。



非常時に備える防災センター



たかはし 高橋 議員



問「消滅可能性自治体」脱却の施策は

答 結婚から子育てまで

充実した生活環境の整備を

高橋 若年女性人口の将来動向に着目して分析したものである消滅可能性自治体は、単独の自治体でなくなると思うが、どうなるのか。

町長 行政区域が拡大し議員数の減少によって、行政と住民の距離が拡大、住民

の意見が反映されにくくなる。

この他、合併自治体の中心地域ばかりに公共施設などが集中して整備され、周辺地域が取り残されるのではないか。

また、旧市町での制度の違いによって、行政サービスが低下し、住民負担が

増加することなどが考えられる。

高橋 若年女性人口を増加又は維持させる対策は。

企画課長 日本全体の人口が減少し、人口の東京一極集中の流れが止まらない中、自治体間では人口の奪い合いになっており、大胆な施策を展開しても限られた人口の中では限界があると危惧している。

大きな人口減少の流れには逆らえない状況であり、若年女性も含めた町全体の人口減少をいかに緩やかなものにしていくかが重要であると考ええる。

若い世代を中心に、安心・やりがい・稼げる仕事の場の創出や若い世代を中心とした移住・定住の推進、結婚・妊娠・出産から子育てまで充実した生活環境の整

備を進めてきた。近年

広島県の消滅可能性自治体一覧と世羅町

自治体	消滅可能性自治体該当状況と分類	2014年分析との状況比較 若年女性人口率
竹原市	○ C-②	悪化
府中市	○ C-②	改善
安芸高田市	○ C-②	悪化
江田島市	○ C-②	改善
安芸太田町	○ C-①	改善
世羅町	— D-②	改善
神石高原町	○ C-①	改善

備をすることにより、多くの若年女性に選ばれる町にしていく。

高橋 4期目を指す町長の人口減少社会への対応・対策は。

町長 これまで若い世代へのUターン・Iターンの施策として、リフォーム補助や空き家バンク制度を進めてきた。近年

自治体の人口特性格9分類(自然減対策と社会減対策)

- A 自立持続可能性自治体: 65
- B ブラックホール型自治体: 25 (B-①:18, B-②:7)
- C 消滅可能性自治体: 744 (C-①:176, C-②:545, C-③:23)
- D その他の自治体: 895 (D-①:121, D-②:260, D-③:514)

封鎖人口	減少率20%未満	減少率20~50%未満	減少率50%以上
移動仮定 減少率20%未満	A 自立持続可能性	D-① 自然減対策が必要	B-① 自然減対策が極めて必要
減少率20~50%未満	D-② 社会減対策が必要	D-③ 自然減対策が必要 社会減対策が必要	B-② 自然減対策が極めて必要 社会減対策が必要
減少率50%以上	C-① 社会減対策が極めて必要	C-② 自然減対策が必要 社会減対策が極めて必要	C-③ 自然減対策が極めて必要 社会減対策が極めて必要

(注)縦軸および横軸の「減少率」は、若年女性人口(20~39歳)の減少率

出典 令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート

は、空き地バンクとして町内全域の紹介に繋げている。子育て家庭への支援も若い方の意見も聞きながら多くの支援を拡充し、自然豊かな町でのびのびと育てたいとの声を聞く中で、食育や教育環境の充実に努めている。

人口減の歯止めは、全国同様厳しい状況であるが、子育て家庭が我が町を拠点として住み続けていただけよう通勤補助も行う中で、新築住宅施策に力を入れていく必要があると考える。



やま 矢山 たけし 議員



6 安全な水とトイレを世界中に

問 上水道の運営に係る負担は

答 投資効果は高まると認識

矢山 上水道の整備計画と投資効果は。

町長 上水道事業は令和5年度から広島県水道広域連合企業団へ経営統合された。企業団の「広域計画」に基づき、令和14年度まで実施される。今後の整備計画は、津田、小国、津久志、水の別、大見

の浄水場を廃止し、黒淵浄水場に集約する事業と、賀茂、重永前・田打の浄水場を廃止し、さかえ浄水場に集約する事業である。次に、投資効果は、企業団へ参画したことにより、国の交付金と併せ一般会計出資債を活用し、6割が地方交付税で措置



11 住み続けられるまちづくりを

問 高齢化が進み集落をどう守るか

答 更なる被害対策の強化に取り組む

矢山 家族農業への支援の具体化は。

町長 機械化などの効率的な経営が困難な、条件不利農地の維持管理が課題である。現時点で、限られた町の単独予算の範囲では、なかなか充実した支援策を打ち出すのは困難である。そのため、中山間

地域のような条件不利地域への補償や支援の拡充を、国に対し引き続き訴えていく。

される。返済に係る負担は減少し、投資

効果は高まると認識している。

矢山 シカの被害を調査し、対策を強化し支援すべきでは。

産業振興課長 令和6年

度に国の交付金を活用し、平成21年度以降に国費で設置した侵入防止柵の設置場所と直近3か年に発生した被害場所を地図情報システムに表示する可視化業務を計画している。事業完了後は、その成果を基に効果的な侵入防止柵の設置や被害対策支援、また実施隊による捕獲活動へ活用し、更に対策の強化に取り組む。



3 すべての人に健康と福祉を

問 介護サービスを守る支援は

答 必要な介護サービスを調整

矢山 介護認定が下がり、十分なサービスが受けられない例があるが、在宅介護の状況はどうか。

町長 世羅町包括支

援センターと相談員や介護支援専門員（ケアマネージャー）と連携し、利用者に必要な介護サービスが利用できるように調整を行っている。



深刻なシカ被害



議員 藤井 照憲



問 依然流行の
コロナ対策は

答 重症化予防の
定期接種に変更

藤井 感染症対策の
課題は。

健康保険課長 基本的な
感染対策の呼びかけ
を継続し、対象者へ
の重症化予防に繋がる
ワクチン接種費用
の一部を助成する。

藤井 後遺症調査か
ら若者への対策は。

健康保険課長 咳、倦怠
感など、40〜50歳代
の割合が高く、

後遺症は症状が悪化
し長引くこともあり、
適切な治療を早期に
受けることが重要。

治療と仕事の両立
に向けた支援は、コ
ロナ後遺症への理解
の促進と情報発信な
どに取り組む。



問 早めの避難の定着は
出来るのか

答 自主防災組織と
連携し意識向上

藤井 早めの避難は。
構築を支援する。

町長 警戒レベル4
「避難指示」では、
危険な場所から全員
避難に変わった。避
難所開設の情報は、
防災無線の外、複数
の媒体で発信してい
る。

情報を避難行動に
繋げるため、災害へ
の防災意識の向上を
図る。

藤井 高齢者等避難
への避難啓発は。

総務課長 自主防災組
織などで実施した訓
練や研修は、地域で
共有して頂き、地域
防災タイムラインの
作成や呼びかけ体制

藤井 避難所運
営の自主防災組
織委託は。

総務課長 避難所
開設・運営は、
津久志地区自主
防災会と協定を
締結している。

地域全体で災
害に備える共助
体制と、住民の
防災意識の向上
に繋げる。

他地区へ拡大
を図るため、委
託内容や町の支
援などを紹介し
機運を高めたい。

5 緊急安全確保
〜〈警戒レベル4までに必ず避難!〉〜

4 避難指示 全ての方

3 高齢者等避難 高齢者や障害のある方

2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)

1 早期注意報 (気象庁)

危険な場所から
避難

避難情報ガイドライン

サロンの仲間たち

No. 15

いきいきシニア・小国

いきいきシニア・小国 縁側サロン

まずは、身体ほぐしの百歳体操から！

小国の自治センターに多くの仲間が集まる縁側サロンは、平成17年に小国朗生クラブの解散に伴い設立されました。このまま活動の場が無くなつては大変と、地区有志に声を呼びかけ、いきいきシニア・小国を立ち上げました。

自分たちが楽しむ場所づくりだけでなく、地域のお役に立ちたいと、お揃いの赤いジャンパーを着て、子どもの登下校時や地域の安全・安心のための見守り活動が続けて来られました。

サロンでは、花見やものづくり、講師を呼んでのお話など様々な活動が行われていますが、今日は年に1度のミニ運動会。会員28名のうち、24名の方が参加され、3グループに分かれて、ボーリングなどの競技を楽しみました。競技が進むうちに、「お〜ストライク〜」あ〜あ〜点じゃ〜 など思わず声が出る場面も。

設立当時から世話役の岡田桂子さ

んは、「高齢化により、年々会員が少なくなつてきましたが、集まって話をすることは元気の素だから」と、これからも工夫を凝らして、多くの方にサロンに集まって頂けることを願っていました。

私も少しではありますがお手伝いをさせていただけ、仲間に加わることが出来ました。仲間とふれあい、声を出して笑いあうことこそ、健康で長生きする秘訣だと、改めて感じました。

みなさん、写真撮影ご協力ありがとうございました。
(向谷 伸二)



表紙紹介

今年も世羅高校2年生を対象に、議会報告会・意見交換会を行った。質問の質がさらに向上し、核心をつくような鋭い質問に議員も誠心誠意答弁を行った。意見交換会では、高校生から政策提言につながる意見も出され、大変有意義な時間であった。



編集後記

今年の夏は、暑い日が続いておりませんが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。最近の気象は、線状降水帯やゲリラ豪雨など例年と比較できない現象が、起きているように思います。日頃から防災を意識していただきたいと思います。

さて、議会からの情報発信の役割の一つとして本紙があります。行政と議会がどのように関わり、まちづくりに議論を戦わせているか、町民の皆さまにできるだけわかりやすく、親しみのある紙面にしていきたいと思っています。広報・広聴の両面を意識して、一方的ではなく、皆さまからのご意見なども頂き、双方向でやっていきたいと思っています。

このメンバーでの紙面作りもあと1号となりましたが、今後とも、引き続きのご支援とご愛読をお願い申し上げます。
(上本 剛)

お詫びと訂正

前号に掲載した内容に次のとおり誤りがありました。7ページの「観光施設工事請負費」の答弁者「建設課長」は「商工観光課長」でした。訂正してお詫びいたします。

議会広報広聴常任委員会

委員長／藤井 照憲 副委員長／松尾 陽子
委員／上本 剛・向谷 伸二・田原 賢司・山田 睦浩



世羅町議会 ホームページ

左の2次元コードを読み取ってアクセスしてください